

1 現場視察場所・行程

- (1) 場所：函館江差自動車道, 新亀川大橋
- (2) 日時：平成 29 年 12 月 6 日、14:00~15:30

2 現場説明者・参加者

- (1) 説明者：森田恵弘（清水建設株式会社）
- (2) 参加者：石川達也、小松正宏、林啓二、松田圭大

(五十音順 敬称略)

3

3.1 路線概要

函館江差自動車道は、北海道縦貫自動車道、函館新道等と一体となって重要港湾函館港や函館空港への高速ネットワークを形成する高規格道路である。

本路線と並行する国道 228 号は、渡島西部地域を結ぶ唯一の幹線道路であるが、落石や土砂崩落の恐れにより連続雨量 110mm 以上で規制される区間が存在する。平成 28 年の台風 10 号でも風の影響で通行止めになり、東日本大震災では国道 228 号など沿岸部のほとんどで津波警報により通行止めになっている。

以上のことから、函館江差自動車道は国道 228 号の代替道路として非常に期待されている路線である。

3.2 現場概要

視察現場の概要は以下のとおりである。

- 工事名：函館江差自動車道木古内町新亀川大橋上部工事
- 発注者：北海道開発局 函館開発建設部
- 施工者：清水建設株式会社
- 工事場所：北海道上磯郡木古内町亀川
- 工期：平成 27 年 10 月 15 日 ~ 平成 30 年 1 月 31 日
- 工事内容：6 径間連続 PC ラーメン箱桁橋
移動作業車（ワーゲン）による張出し架設方式
- 交差物件：町道亀川 1 線、普通河川亀川
- 平面線形：直線
- 橋長：473.0m(最大支間長：92.0m)
- 幅員：11.5m



3.3 現場視察状況



(文責 (株) ドーコン 松田圭大)